



8日(木)に、三崎小学校の6年生が、「セーリング教室」に参加しました。日本セーリング連盟の富田先生をはじめ、県のセーリング課の皆さんなどが、講師として学校に来てくれました。

最初に、子どもたちの体力を見たいということで、腹筋運動をしたのち、富田先生から、セーリングのレースの様子と艇種(470級、フィン級など)の説明が、映像を交えてありました。

休憩中も、興味を持った子供たちは、フォグフーン(スタート5分前等の合図のための道具、海の上で鳴らすので、大きな音がします。ガスで鳴るらしいです)を自分たちで鳴らしていました。

その後、実際にヨットに乗ってみるグループ、もやい結びなど、ロープの結び方に挑戦するグループ、模型でセーリングの原理を学ぶグループの3つに分かれ、それぞれの講師の方たちに指導していただきました。

セーリングというスポーツは、天気図や雲の流れ、潮の様子等を総合的に判断して行う、自然との闘いのスポーツだということがよくわかりました。



10日(土)に、剣崎小学校で、「剣崎っ子発表会」が行われました。

その中で、1年生が、「すてきな学校便り」の、「剣崎ニュース中継」というコーナーで、「うみたんけん」というテーマで群読を行いました。

自分たちで作ったビッコタン、カニ、ヤドカリのお面を頭にかぶって、それぞれの生き物になりきって、元気に発表していました。



14日(水)、上宮田小学校の5年生が、観音崎自然博物館を見学しました。写真は、山田先生から送っていただきました。5年生が、ずっと勉強しているサバについても、詳しく教えていただいたそうです。ちなみに、山田先生のこの日のTシャツは、ウミウシ(観音崎自然博物館のオリジナル)だったそうです。

21日(水)には、三崎小学校の4年生が、博物館を見学する予定です。



同じく14日、南下浦中学校の2年生が、家庭科の授業で、サンマの三枚おろしに挑戦しました。まず、サンマの頭を切り落とし、腹に包丁を入れた後、骨にそっておろしていきました。その後、はらわたと小骨をとって、小麦粉をまぶして、フライパンで焼き、味付けをして、かば焼きが出来上がりました。



さすがの三浦っ子でも、魚を三枚におろした経験のある子はほとんどいませんでしたが、全員やり遂げました。いい経験になったのではないのでしょうか。

(文責 事務局長 渋谷)

